

# VPNの脆弱性について

VPN (Virtual Private Network) とは、インターネット回線を利用した仮想的な専用線のことであり、コロナ禍におけるテレワークの増加によって、自宅から勤務先のネットワークに接続するなど、VPNの利用者が増加しています。

しかし、VPN接続機器の脆弱性を悪用され、**昨年は87,000台分のパスワード等の認証情報がハッカーに窃取されてダークウェブ上に公開されるなどの事案が発生しているため、VPN接続機器を常に最新の状態にすることが重要となっています。**



## VPNの脆弱性に対する各国の対応状況

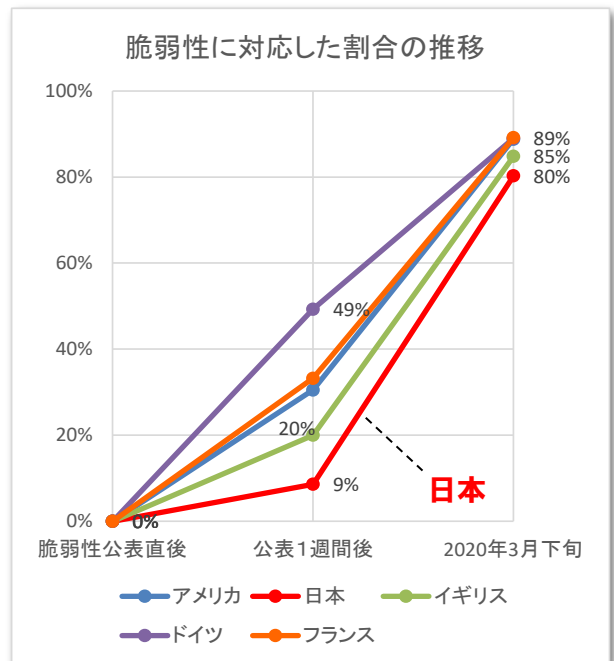
2019年8月、米国パルスセキュア社製のVPN製品の脆弱性が明らかとなり、調査の結果、**世界121か国、14,500を超える機器が脆弱**であることが確認されました。

日本は同脆弱性に対するアップデートが1週間経っても1割に満たない状況であり、7か月後でも諸外国に比べ適用率が低く、**日本の対応の遅さ**が明らかとなりました。

	脆弱性 公表直後	公表 1週間後	2020年 3月下旬
アメリカ	5,010	3,481	562
日本	1,511	1,381	298
イギリス	830	664	126
ドイツ	789	400	87
フランス	626	418	68

脆弱な機器の台数 (単位: 台)

引用元: Over 14,500 Pulse Secure VPN endpoints vulnerable to CVE-2019-11510 - Bad Packets



**常に最新の状態へのアップデートをお願いします!**



石川県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課



076-225-0110



cyber@police.pref.ishikawa.lg.jp

